

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年9月20日

1. BMJ：フロリダ州知事が連邦政府の方針に反して65才以下のワクチン接種を止めるよう声明
2. 下水サーベイランス情報最新：札幌

【松崎雑感】

1. BMJの記事です。「反ワクチン」がそれでお金を稼ごうとする人のビジネスとなっていることにも触れた記事です。トランプ氏ももやや公式的には反ワクチンを言わないのに、フロリダ州知事が反ワクチンの旗を振っていることを厳しく指摘しています。
2. やっと札幌のコロナは減ってきましたが、それでも大流行の7合目くらいです。いつどこで、あなたが感染するかは予測できません。しっかり感染予防対策を！！！！

フロリダ州知事が連邦政府の方針に反して65才以下のワクチン接種を止めるよう声明

Dyer O. Covid-19: Florida governor tells under 65s to shun boosters against national guidance. *BMJ*. 2023;382:p2134. Published 2023 Sep 18. doi:10.1136/bmj.p2134

フロリダ州知事が連邦政府の方針に反して65才以下の州民は今秋のワクチン接種を止めるように声明を出した

フロリダ州の保健長官でデサンティス知事の側近でもあるジョセフ・ラダポ氏は、これまでも誤った見解を振りまいて、しばしば批判にさらされてきたが、9月13日のオンライン会議で「週保健当局に対して、65才以下の州民にmRNAワクチンを打たないように勧告する指導を行った」と述べた。

ラダポ氏とデサンティス氏はX（旧ツイッター）のプラットフォームで行われた「No way FDA（なんてことをやるんだ、FDAは）」というイベントに出席した。デサンティス知事は「FDAとCDCが健康なフロリダ州民をモルモットにして、安全性も効果も保証されていないワクチンを接種しようとたくらんでいる。これは絶対に許されない」と公言した。

CDCは生後6か月以上の米国市民の多くに、新型コロナのブースターワクチンを投与することを推奨している。このフロリダ州知事の発言に対して、CDCのマディ・コーエン長官は、このワクチンの安全性と有効性が厳密かつ独立のレビューにより証明されていると反論した。

「新型コロナワクチンは、実に多くの人々の入院を防ぎ、数百万人の人々の命を救った。公衆保健専門家はこれらの事実が真実であると広く合意している。ワクチンを受けるなどと言う主張は根拠がないだけでなく、多くの人々の命を危険にさらすものだ」とコーエン氏は述べた。

警告書簡

ラダポ氏は、デサンティス州知事の避雷針として2021年に保健長官と指名された。この3月、彼は、CDC長官とFDAコミッショナーから、前例のない反論書簡を受け取った。それは、新型コロナワクチンが心臓病をもたらすおそれがあるという主張が、「間違いであり、人々に大きな誤解をもたらし、米国社会に有害な影響をもたらす」と警告する内容だった。

4月には、彼に対してフロリダ州立大学の専門家から抗議を受けた。それはフロリダ州がスポンサーとなり、フロリダ州立大学が行った若年男性に対する新型コロナウイルスの安全性調査の結論を、彼の指示により「心臓病のリスクが高まるという有意な所見は見られなかった」から「ワクチン接種により心臓病リスクが高まる」と「改竄」した事についてである。

ラダポ氏は、2020年7月に、白衣を着た医師グループの一人として米国国会議事堂の階段に登場してオンラインで、ロックダウンを非難し、ハイドロキシクロキンを特效薬だと演説したことで世間の注目を浴びた。

この映像は、トランプ大統領がリツイートしてから1700万ビューをたたき出した。これを拡散したSNSは、これがデマであるとして、すぐにこの映像を削除した。しかし、ラダポ氏の医師グループは、その後トランプ政権のペンス副大統領と会談するチャンスをゲットしたのである。

後に連合通信社（AP）からリークされたビデオによると、この医師グループは、ロックダウン反対のトランプ政権の政策を支持する医師がいるという世論を広げるため、共和党のコンサルタントが雇った（リクルートした）ものだということが明らかになった。

このビデオに登場した医師グループは、新型コロナを治すというセールストークで怪しげな商品をオンラインショッピングで売りつけるAmerica's Frontline Doctorsという団体を設立し、保守的反ワクチン陣営に大きな影響力を獲得している。

この医師グループのリーダー、シモーヌ・ゴールドは、2021年1月6日の米国議会選挙事件に関与したという罪状で禁固6か月を言い渡された。彼女は、議会棟の彫像に登って、拡声器を使って、襲撃した人々に対して、新型コロナ対策としてワクチン、ロックダウンは有害無益だと演説した。この医師グループには、家庭医かつテレビ牧師をつとめていたステラ・エマニュエルが所属している。彼女は、性感染症が、悪魔の片割れとのセックスを夢想することから発生するという馬鹿げた発言をしたため、総スカンを食らったという過去がある。

ハーバード大学医学部の出身のラダポ氏は、反ワクチンのテーマで、それほど目立つ発言をしてこなかったが、デサンティス氏の目に留まり、フロリダ州厚生長官に任命された。それまで2年間州厚生長官をつとめてきた彼の前任者スコット・リブキース氏は、今週のワシントンポストに、フロリダ州民は、自分の勤めてきたフロリダ州政府の言う事を聴くよりも、CDCなどのまともな医学専門家のアドバイスを重視すべきだと語っている。

政治的角

デサントイス知事は、連邦政府の専門家は「誤ったイデオロギーに凝り固まっている」という根拠のない主張を言い続けている。しかし、彼はフロリアのメディアよりも、アイオワ州のスティーブ・ディエース氏のラジオ番組に出演することが多い。アイオワ州は、共和党大統領候補指名選で真っ先に候補指名が確定する州である。

ワクチンについてはトランプとデサントイスの主張が明らかに違くとディエース氏は語る。彼はアイオワ州の保守派（共和党）の中では、トランプ大統領に苦言を呈していた。最近のフォックスニュースで報道されたところによれば、トランプ氏が2016年の大統領選に出馬したとき、彼は、ワクチン接種が自閉症をもたらすと主張していた。しかし、コロナパンデミックが深刻となるにつれて大統領となった彼は、ワクチン接種がコロナパンデミックから市民を救う救世主であり、これは自分の業績であると、Uターンの主張に変わった。

一方、デサントイス氏は、ワクチンについて、当初トランプ氏の肯定論と軌を一にしていたが、彼が共和党の大統領候補のライバルとなる状況の変化を受けて、明らかに反ワクチンの方向に主張をUターンした。

この二人の人物の主張のUターンは、2021年12月21日に表面化した。この日、トランプ氏は共和党の大会で、自分はブースターワクチンを受けると表明した。トランプ氏はこのままワクチンを拒否しては、かえって民主党の支持率を増やすことになる、みんな揃ってワクチンを受けようとビデオメッセージを公表した。

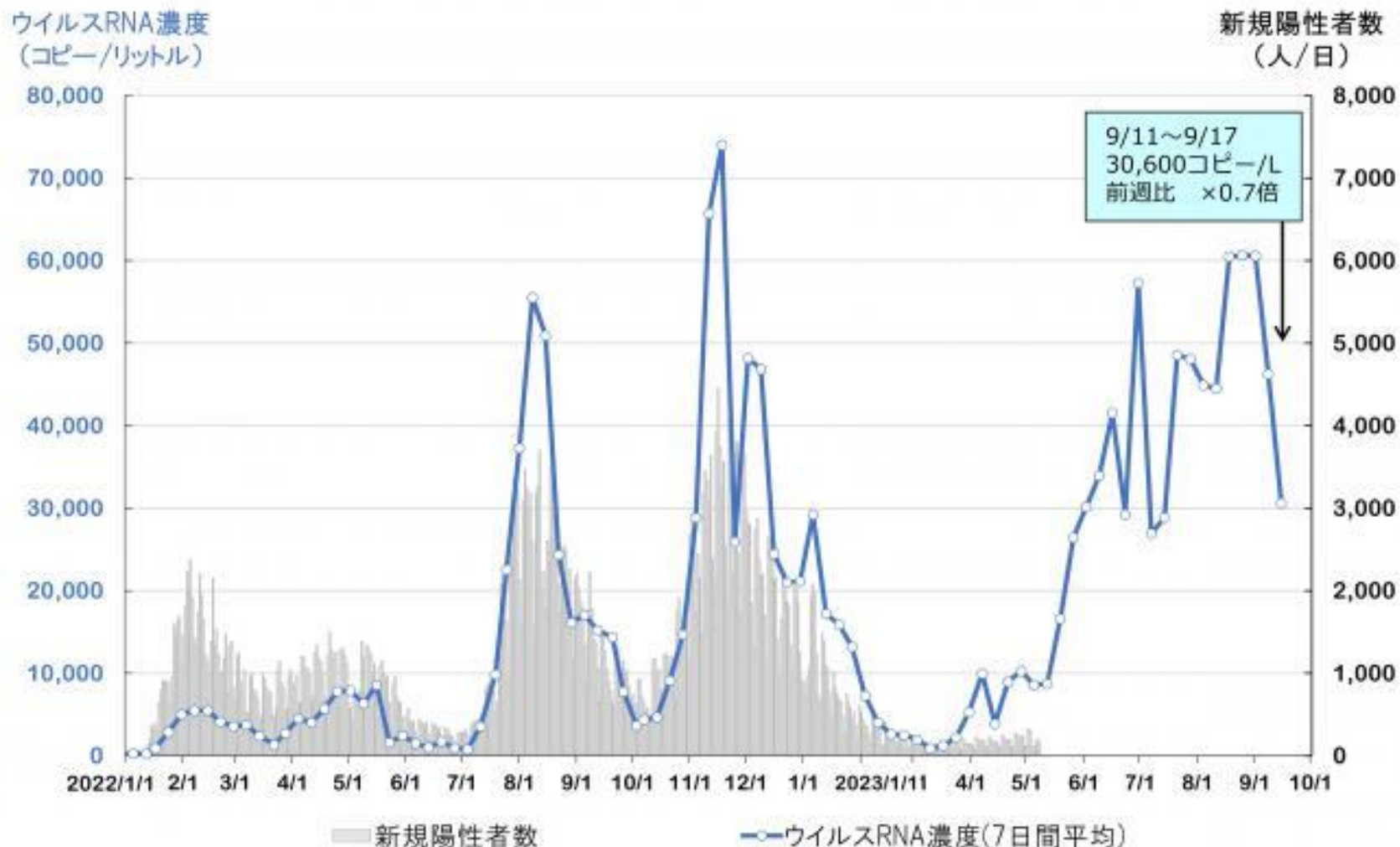
その後、高らかにワクチンなど受けないと公言していたデサンティス氏はどうなったか？メディアから、新型コロナワクチンを受けましたかと質問されたとき、**彼はノーコメントと答えた。**

メーガン・ケリー氏のインタビュー番組で、トランプ氏は彼の率いた共和党政権の失態を巧妙に言いつくろった。トランプ氏は、彼女に次のように語った。「民主党のとても切れ者の友人が私にこう尋ねた。大統領在任中にあなたはワクチン接種を推進するというとても大きな業績をあげました。あなたはなぜそれを強調しないのですかと。それに対して私は、私を支持する人々も反対する人々もいる中での決断です。コロナパンデミックまでずっとワクチンに反対していたのですが、パンデミックが始まってから9か月で、ワクチン接種推進を決断したのですこれで、1億人の人々の命を救うことが出来ました」と。

ケリー氏は「それって、すごいことね」と述べた。トランプ氏は「そうとは思わない。民主党がずっと言っていたことだからね」と答えた。

新型コロナ

ウイルス濃度は2週連続で減少しましたが高い水準を継続しており、引き続き注意が必要です。



インフルエンザ：

検出率及びウイルス濃度は前週から減少しています。

下水サーベイランスの結果（インフルエンザウイルス）

